

部 局 経 営 方 針

平成 2 0 年度

薩摩川内市

部局名	建設部	部局長名	石澤 一美
-----	-----	------	-------

部 局 の 経 営 資 源	当初予算	79億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		87人	12人	99人

部局の使命 (組織の存在価値)	土木建築等所管事務の遂行を通して、市民の安心・安全の確立及び利便性の向上を図ること	組織目標像	<p>施設の目標像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所の計画的解消 ・管理施設の安全性の向上 ・機能的、効率的な都市計画等の確立 ・道路、公園等施設の計画的整備による生活環境の向上 ・市民ニーズに対する迅速な対応 <p>組織の目標像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の健康向上 ・支所との連携強化等即応体制の確立 ・課題・難題対応のための部内検討体制の確立 ・明るく風通しの良い職場環境の創造
--------------------	---	-------	--

平成 2 0 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標 (めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況 (年度中間)	年度末の達成状況
防災・安全対策の促進	急傾斜地やがけ地近接住宅事業の計画的実施及び事業促進	危険箇所対策のための計画的な予算の確保及び事業実施並びに広報紙等を活用しての市民周知を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・(県単)急傾斜地対策事業 6地区実施, (県営)急傾斜地対策事業 1地区実施し計画的な予算要望を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(県単)急傾斜地対策事業 9地区実施, (県営)急傾斜地対策事業 1地区実施。 ・計画的な予算要望を行なった。
	管理施設の点検及び危険箇所対策の実施	地区住民や指定管理者との情報交換を行なう。	<ul style="list-style-type: none"> ・市営駐車場の管理状況について、随時情報交換を実施した。 ・毎月の報告書及び現地確認を実施, 不備な箇所は、即時修正させている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営駐車場については、新たな指定管理者での管理体制のもとで情報交換に努め、駐輪場に屋根の設置を行い利便性向上を図った。 ・市営住宅についても、点検を行い、危険箇所については、改善を行うとともに遊具についても定期

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

				的な点検を行い、改善を行うとともに廃止すべきものは、撤去等を行った。
	危機管理体制，即応体制の確立	異常事象時やその他事故発生時における複数連絡網の作成，業者等協力体制の確立。	・課内連絡網を作成するとともに，台風時等課内での情報共有，即応体制をとった。	・部内の緊急連絡網を作成し，災害時等の情報共有及び即応体制を図った。
利便性・福祉の向上	都市計画区域等見直しの計画的な推進	説明会やパブリックコメント等により住民意向等の把握。	・特別用途地域の指定等の都市計画決定時に説明会，市役所ホームページ等での情報提供等実施するなど概ね計画通り進捗している。	・都市計画区域等の見直しについては，建築士会，宅建協会との意見交換を行うなど関係機関との協議を行った。
	道路公園等計画的事業の促進	予算の計画的な確保及び効率的な事業の執行。	・継続中の道路公園等は，引き続き整備している。公園については11月中には，全件発注予定。	・一部用地交渉等で遅れた箇所以外は，年度内完成した。
	まちづくりの核となる区画整理事業の推進	計画的な予算の確保，計画見直し等早期の終了。	・駅周辺地区土地区画整理事業では難航していた補償協議が解決。今後整備を促進していく。	・入来温泉場区画整理事業の見直しに伴う仮換地指定の変更を行い，川内駅周辺地区土地区画整理事業では，宅地造成と道路築造が概成し，事業推進を図った。
	地籍調査事業の計画的推進	計画的な予算を確保し，早期の終了を目指す。	・東郷地域現地調査完了を含め各事業所も天候にも恵まれ蜂による被害も無く順調に推移している。	・東郷地域を含め各事業所（3事業所）とも計画どおり順調に業務遂行が図られた。
	要望・苦情等に対する迅速な対応	要望・苦情等に対する迅速かつ確実な対応のためのメモ・報告の作成。	・要望・苦情等に対し迅速・確実に報告書や敏速な対応を図った。	・要望・苦情等に対し迅速・確実に報告書や敏速な対応が図られた。
	部内組織の強化	健康管理の徹底	人間ドック，健康診断等の積極的な受診。	・人間ドック，健康診断，献血等積極的な受診を行い，健康管理に努めた。

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

	<p>各課・支所連携による課題等対応検討会の実施</p>	<p>部内課長・代理等による課題等対応検討会を年4回程度実施。</p>	<p>・各課において、毎月定例会を実施したり、課題等の対応策として適時検討会を開いた。</p>	<p>・各課において、課題等の対応策として適時検討会を開催した。</p>
	<p>明るい職場環境づくりの推進</p>	<p>声かけ運動、ボランティア活動、レクリエーションの積極的实施。</p>	<p>・ボーリング大会等課内レクリエーションの開催を実施した。 ・毎月第一月曜日は、向田児童公園の清掃実施。 ・声かけ運動、レクリエーションの実施により職場環境づくりに努めた。</p>	<p>・向田児童公園の定期的な清掃、声かけ運動及びレクリエーションの実施を行うなど職場環境づくりが図られた。</p>
<p>年度中間総括</p>	<p>・防災・安全対策の促進及び利便性・福祉の向上については、概ね計画どおりの取り組みができており、今後も取り組みを継続していく。 ・部内組織の強化のため、職員の健康管理の徹底・明るい職場環境づくりの推進に積極的に取り組んでおり、今後も積極的な取り組みを継続していく。</p>			
<p>年度末総括</p>	<p>(1) 危険箇所の計画的解消 建設維持課において、9地区の(県単)急傾斜地対策事業、1地区の(県営)急傾斜地対策事業を実施し、危険箇所の解消を図った。</p> <p>(2) 管理施設の安全性の向上 都市計画課では、川内駅周辺地区市営駐輪場の屋根の整備を行い、利便性の向上を図った。 建築住宅課では、市営住宅の指定管理について毎日の報告書提出を求め、指摘事項の手直しを図った。</p> <p>(3) 機能的、効率的な都市計画等の確立 都市計画課において、都市計画区域等の見直しに伴う関係機関との協議を進めるとともに、用途地域について建築士会及び宅建協会との意見交換を行った。</p> <p>(4) 道路、公園等施設の計画的整備による生活環境の向上 建設整備課では、各支所間の連携を密に行うなど管内工事を計画的に実施した。 都市計画課では、川内駅周辺地区土地区画整理事業において難航していた補償交渉が解決し、地区内の宅地造成及び道路築造が概成した。 天辰区画整理推進室では、第二地区の整備に伴う環境調査や財源確保に向けたまちづくり交付金の新規採択に努めた。 入来区画整理推進室では、事業見直しに伴う仮換地指定の変更などや事業推進を図った。</p> <p>(5) 市民ニーズに対する迅速な対応 建設維持課では、市民要望苦情対応として工事現場と同じくワンデ-レスポンスに努めスピーディな対応に努めた。</p>			